

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和3年4月13日（火） 18時30分から20時
会 場	中野区役所 7階第8～10会議室
テ ー マ	中野区基本計画（素案）・中野区区有施設整備計画（素案）について
出席者 区 民	計33人
区 側	区長、企画部長、構造改革担当部長、子ども家庭支援担当部長、企画課長、基本構想担当課長、財政課長
一 時 保 育	有
手話通訳・要約筆記	無

区長あいさつ	
<p>本日は、基本計画・区有施設整備計画の素案に関する意見交換会である。3月に区議会での議決を経て、中野区において最上位に位置する基本構想を改定した。基本構想の中では、まちの将来像として「つながる はじまる なかの」を掲げている。中野区では、人と人がつながり、新たな価値を生み出していくことを大切にしたいと考えている。</p> <p>その基本構想を実現するための計画が、基本計画及び区有施設整備計画である。基本計画は、将来人口推計や財政見通しを踏まえ、区が取り組むことを体系的に示している。中野区の総人口は、2035年をピークに、その後は減少に転じる見通しである。また、高齢化が一層進展し、65歳以上の人口は増加傾向が続く。そうした中でも行政サービスを維持していく必要があると考えている。</p> <p>区有施設については、現在、築50年以上の建物が全体の約3割を占めるなど、老朽化してきている。子どもの数の減少に合わせて学校の統廃合を行ってきたことにより、学校数は減ったが、施設については老朽化している学校が多い。学校施設の建替え等については、未来ある子どもたちの施設であるため、最優先で行っていく必要があると考えている。ただ、学校だけでなく、これから更新する必要がある施設は多くあるが、財政見通しを考えると全てを更新することはできない。財政の見通しを立て、10年後を見据えた上で、長期的な視点も持って施設の更新を進めていきたい。</p> <p>本日は、区政に対して、皆さんが日頃感じていることについてのご意見などいただきたい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>「施策11 中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導」にある中野四丁目西地区第一種市街地再開発事業は民間の事業だと思うので、区の計画に主な事業として掲載すべきではない。</p>	<p>区としてはまちの活性化や安全・安心、ユニバーサルデザインによる公共基盤整備等を実現するため、まちづくりを推進していく考えであることから他の地区と同様に記載している。まちづくりを推進していくにあたっては、地権者の合意が基本であることから、状況を見極めながら適切に取り組んでいく。</p>
<p>区立小・中学校について、教員が一人ひとりの子どもに目が行き届くよう、1クラスの人数を20人程度としてほしい。区立小・中学校の魅力向上のためにも少人数学級が良いと思う。</p>	<p>学級の編成に関しては、東京都の学級編成基準に則り進めている。なお、小学校に関しては、令和7年度までに段階的に35人学級となっている。中学校に関しては、今後の検討課題だと考えている。授業の内容によっては一定規模の集団による指導が効果的な場合もあり、適正な人数については今後も検討していく。</p>
<p>区は、これまで民間委託を進めてきているが、区民の抱える課題は複雑化しているのでは、民間委託せず、区が責任を持ち適切にサービスを行っていく必要があるのではないかと。また、区の事業を受託した事業者の職員が適正な労働環境で働けることが必要だと思うが、公契約条例の制定はどうなったのか。</p>	<p>財政面から、区職員は一定数に抑える必要がある。業務の効率化を進めるとともに、業務に優先順位を付け、区職員が担うべき業務を明確にすることが必要だと考える。また、一定の業務については、区が業務を行うことで、指導検査などを行うことができる人材の育成・確保などを進めている。なお、公契約条例は、検討を進めている。</p>
<p>教育センターの跡地に保健所と生活援護事務所を移転・複合化とあるが、生活援護事務所は本庁舎にあるべきだと思う。新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、保健所機能はますます重要になっているので、教育センターの跡地は保健所のみ整備すべきだ。</p>	<p>生活援護課の体制は強化していく必要があり、新区役所には入りきらないと考えている。一方、プライバシーの確保は必要だと思っており、今後、検討していきたい。また、保健所のあり方についても、国の動向も踏まえ、検討していきたい。</p>
<p>平和の森小学校については土地を売却することだが、売却するとマンションになるのではないかと。マンションになれば児童数が増え、平和の森小学校を建て替えても入りきらないと思う。</p>	<p>平和の森小学校は、建替のために新たに土地を取得しており、費用がかかったため、現在の土地は売却する必要がある。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
施設の集約・効率化だけでなく、分散してほしい。空き家対策も兼ねてNPO等を活用し、地元の人の居場所を整備する等、施設のタイムシェアを進めてほしい。	施設のタイムシェアや多世代交流は大切だと思う。予約状況に応じた使用方法について、検討していく。
平和の森小学校跡地は、子どもの運動場や地域の交流拠点になるような場所（集会所等）を確保し、区民サービスの向上に努めてほしい。	平和の森小学校は、建替のために新たに土地を取得しており、費用がかかったため、現在の土地は売却する必要がある。
「政策5 東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する」について、ポストコロナの時代にそぐわないように思う。また、エリアマネジメントは、住民目線のものとなっている必要があると思う。	中長期的な視点に立ち、活力ある持続可能なまちの実現に向け、中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer.3を踏まえてまちづくりを進めており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、極端に計画を修正する必要はないと考えている。 まちづくりでは、ハード面だけでなく、まちを運営する仕組みや人がどう動くかといったソフト面も重要だと考えている。中野駅周辺のエリアマネジメントについては、区民や地元商店街等の意見を踏まえながら取り組んでいきたい。
子どものいない20～30歳代の区民は、地域とつながる機会がほとんどないので、地域に様々な人と交流できる場を作ってはどうか。	今後、若者施策を積極的に進めていく考えである。地域で人々がつながりやすい環境や、町会・自治会や様々な地域活動団体のイベント等において多様な人が参加しやすい開かれた環境づくりを進めていく。
テレワークができる場所をつくってほしい。	テレワークができる場所の必要性については認識しており、今後検討していく。
上高田児童館に併設した学童クラブをなくさないでほしい。	学童クラブのニーズについては、ご意見として受け止めたい。
基本構想の「改定の背景」では、人口構造の変化が将来、区の財政に影響を与えることが予測されるとしているが、補助第220号線などの道路計画は予定どおりとなっている。このような不要不急の道路計画は、中止を含め見直してほしい。	補助第220号線については、鉄道交差部の一部区間で事業を推進している。また、その他区間においては、木造住宅密集地域を縦断している箇所もあり災害時の燃え広がりを防ぐ延焼遮断帯の機能等も期待されることから今後事業着手時期を検討していく。
今後想定している施設数と面積が現状とほぼ変わらないが、デジタル化等の社会状況が変化することを考慮すべきである。	申請や手続の電子化などを進めることによる影響については、本計画には反映していない。そうした影響を踏まえ、将来的には、検討していく必要が出てくると考えている。
人々の本離れが進んでいると思う。区立図書館において、魅力的な図書を増やしてほしい。	児童図書の貸出冊数が、他区に比べ中野区は少ない。子どもの頃から読書に親しめるよう、子どもの読書環境の充実を図っていきたい。
歴史民俗資料館の稼働率が低いと思う。区民に利用してもらえよう、工夫した運営を行ってほしい。	歴史民俗資料館では、来館者の増加を図るため、令和2年4月に開館以来初めてとなる常設展示の刷新を行った。コロナ禍においても、SNS等を活用した資料館の周知など、利用促進に努めている。

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>本町図書館跡は、民間施設の誘致を検討することだが、図書館の機能を残してほしい。本町図書館は、公園に近く乳幼児親子や子どもも多く利用できる場所である。</p>	<p>ご意見として承る。地域のご意見を伺いながら、検討を進めていく。</p>
<p>中野駅周辺には、子育て家庭がベビーカーでも買い物しやすいスーパーが少ない。また、子どもが体を動かせる場所も少ないので、スポーツ施設を誘致してほしい。</p>	<p>中野駅周辺のまちづくりを進める中で、子育て世代をはじめ、あらゆる世代の方々にとって、利用しやすく魅力的な商業施設を誘導していきたい。</p>
<p>中杉通りや補助第133号線の整備が進んでいないがどうなっているのか。施策44の施策の方向性には「まちの安全性・快適性・利便性の向上を図る」とあるが、工事によって生活環境の悪化が考えられる。また、商店街のにぎわいが失われることも懸念されるが、どのように考えているか。</p>	<p>中杉通りは、東京都の事業である。鷺ノ宮駅周辺まちづくりを進める中で、歩きやすく利用しやすい商店街となるよう支援していく。</p>
<p>昭和区民活動センター圏域においては、昭和区民活動センターや新しいすこやか福祉センター、桃園第二小学校といった施設に関する課題が多い。地区の施設協議会を立ち上げ、エリア全体を住民と行政が協議してはどうか。</p>	<p>地域住民の意見を踏まえた、地域住民に使ってもらえる施設にしていきたい。また、利用者や地域の意見を聞きながら今後どのように進めていくか検討していきたい。</p>
<p>子どもが遊べる公園や子育てひろばが不足している。施設の更新に時間がかかるのはやむを得ないが、子どもの成長は早いので、早急に対応してほしい。</p>	<p>子どもから大人まで楽しめる魅力ある公園の整備を進めていく。また、施設の整備には時間がかかるので、団体の活動支援などから早急に実施していきたい。</p>
<p>中野区には、アニメーションの制作会社が多いので、そうした会社と連携した取組を行ってほしい。</p>	<p>アニメは、中野の強みだと考えており、経済団体や企業と連携した取組を進めるとともに、広くPRしていきたい。</p>
<p>楽器を使える施設を増やしてほしい。</p>	<p>楽器を使用できる施設について、中高生に関しては中高生向け施設の検討の中で検討したい。</p>
<p>施設に行かなくても、インターネットで抽選に対応して予約から支払いまで完結できるサービスを導入するなど、区民活動センターをはじめとした区有施設の予約方法の改善に取り組んでほしい。</p>	<p>行政手続きのIT化を進め、利便性の向上に取り組みたい。区民活動センター集会室の利用手続等について、オンラインで予約できるシステムの導入を検討していく。</p>